

発掘した江戸時代のおもちゃ

元町、幸町など、江戸時代に城下町だった場所を発掘すると、ごみ穴に捨てられた土製や陶製の人形が出土することがあります。

これらは、江戸時代の子供たちが人形遊びで使ったおもちゃです。当時は、動物・童子など愛玩的な人形や、七福神・福助などの招福人形が人気だったようです。出土する土製人形の大半は、地の赤い色です。中には、色が塗られた痕が残っているものがあり、作られた当初は、きれいに彩色されていたものと思われます。赤く塗られた赤ん坊は疱瘡除け、天神様は学業成就、西行法師は泥棒除けや腰痛除けというように、おまじないや民間信仰に関係した人形も多く見られます。



また、人形以外には、ままごと遊びに使われたミニチュアの食器、風流な趣味として大人が楽しんで箱庭の道具なども出土しています。形も内容もさまざまですが、いずれも本物の特徴を忠実に再現した精巧な作りです。

日本人の手先の器用さは、昔も今も変わらないようです。

市税納期のお知らせ

8月は、市県民税第2期・国民健康保険税第2期の納期です。

忘れずに納めましょう。

問い合わせ…収税課収税管理担当・TEL224-5686▶国民健康保険課国保収納担当・TEL224-5837

どんぐり

編集後記

ながさわひでとし
長澤英俊さんと川合善明川越市長との対談を、8月10日発行の広報川越で紹介しました。気さくで話し上手な長澤さん。取材中は会話に引き込まれ、楽しい時間を過ごすことができました▶対談後、「オーロラの向かう所」を撮るために、1時間ほど作品とにらめっこ。暗い部屋なので、初めは何も見えません。当然色も分かりませんが、30分を過ぎたころ、うっすらと青や赤の色が見えてきました。作品が見せてくれた“オーロラ”なのでしょうか……。

新型インフルエンザ集団感染に関する市長メッセージ

新型インフルエンザについては、海外からの感染者の流入を止めることはできず、今後も患者発生が続くものと考えられます。国内では、一部に原因が特定できない散発事例が発生しており、本市においても10名前後の集団感染が3件発生しています。感染された方は、10代の児童・生徒が多く、不安を抱いたり、つらい思いをしています。

もし友達が感染してしまっても、だれが感染したかを問題とするのではなく、季節性インフルエンザと同じくだれもが感染する可能性があることを理解し、友達が元気に回復したら、みんなで「よく頑張ったね!」と励まし合いましょう。

国では、秋冬に向けて大規模な集団感染や基礎疾患を持つ方の重症化を防止するため、保健・医療などのさまざまな対策を進めています。また、市では、今後とも情報収集に努め、適確に対処してまいります。

今回の新型インフルエンザは、季節性インフルエンザと同じ予防策が有効です。市民の皆さまにおかれましては、家庭や学校、職場等で、「咳エチケット」を守り、「手洗い」や「うがい」などをまめに行い、お互いに感染予防に心がけましょう。

平成21年8月4日

川越市新型インフルエンザ対策本部長
川合善明